

発表番号	チーム名	文化環境部 水グループ
	担当者 【所属名】	森 下 将 勝 (公営企画課) 大 見 庸 平 (建設整備課) 小 畑 勇二郎 (水環境対策課)
I - 5		

タイトル	「水の情報館」を設置 ～水循環施策の推進は情報の共有と現地・現場を知ることから～
------	---

アピール ポイント	上下水道一体となった水循環施策を推進する取組の実践
--------------	---------------------------

背景	<ul style="list-style-type: none"> ・部局再編により、上下水道を担当する組織が一体化（水グループの誕生） ・水グループ発足当初は、各課が別々に情報収集、研修を実施 ・組織一体化のメリットを最大限に活かした水循環施策を推進するためには、「情報共有」と上下水道を通じた「水循環の視点」を持つことが重要 ・そして何よりも現地・現場を知ることが第一
----	---

改善 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「水」を中心とした業務に関する最新情報を共有・保存し、活用しやすいようデータベース化した「水の情報館」を設置 ・水グループ所属職員がお互いをよく知り、一体となって水循環施策を推進する取組として、独自の現地・現場研修を実施 ・現地写真のムービー化、研修内容の情報共有（「水の情報館」を活用） <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">情報とともに「意識」までも共有する“超上級”業務改善事例です！ by 対話推進者</p>
----------	--

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道を通じた情報に触れることで、水グループ内の動きを全職員が共有することができ、水循環施策の推進に向けた環境づくりができてきた。 ・互いの現場を知る機会の少ない職員にとっても、現場への理解を深めることができ、日常の業務に活かすことができた。 ・施設の事故等の緊急時に相互に人材を応援すべく、危機管理対応訓練において人員の融通訓練も取り入れるなど広がり生まれた。 ・職員が講師となり、ITを活用した業務に関するノウハウ研修の開催など、新たな取り組みも生まれ、ITスキル等の向上により、業務効率化の推進につながっている。
----	--

今後の 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・更に水循環の視点を活かした施策が推進できるよう、情報の共有と活用、職員交流などの取組を継続・発展していきたい。
-----------	--

